

土木保安用品、建築用部材等のプラスチック
製造・販売事業

プラスチックリサイクルにおける 洗浄技術の有効性確認の為の市場調査

業務委託契約
(請負型)

所在地 福井県福井市

創業年 1895 年

従業員数 103 名



01

抽出された
経営課題



プラスチックリサイクル事業確立に向けた情報収集

使用後の廃棄プラスチックは一部回収してリサイクルが行われていますが、大部分は温暖化現象の原因となる焼却や埋立てがなされ、環境問題となっています。この問題に対して、当社はプラスチック成形メーカーとして取り組み、持続可能な事業を行っています。その事業の一つで、各企業から排出される廃プラスチックを再び原料として再生し利用する事業を進めています。具体的には、排出された廃プラスチックを洗浄や粉砕などの工程を経て、再生プラスチックとして販売しています。しかし、廃プラスチックの洗浄に関しては課題も多く、市場における廃プラスチックの洗浄技術の動向調査やプラスチックリサイクル事業の確立に向けた情報収集・分析が必要でした。

02

プロ人材に
与えられた
ミッション



プラスチックリサイクルの為に必要な洗浄技術の市場調査

コロナ禍の影響で現地を訪問しての市場調査が困難であり、また廃プラスチックの洗浄技術に関しては情報不足といった課題を解決するために、その分野の専門的な知識を有する人材が必要でした。そのため、プロ人材には、副業で当社に関わることができ、市場調査の経験があり、「洗浄」という工程に長年携わっている人材を求めました。益田氏は、大手企業に勤めていた際に紙おむつの洗浄技術に携わり、その当時から市場調査を行った経験があることから、これまでの知識や経験が当社のプラスチックリサイクル事業に活用できると思い採用しました。

03

プロ人材が
もたらした
効果



収集したデータを活用し事業計画書を作成

現在、市場から回収されたプラスチックの多くが産業廃棄物として処理されている主たる要因はプラスチックに付着した汚れであると考えています。今後プラスチックリサイクルを推進していく為には「洗浄技術」は必要不可欠であると考え、益田氏に「今後の廃プラスチック洗浄技術の動向」の内容で市場調査を実施していただき、その調査結果を基に様々なディスカッションを実施する事で精度の高いデータを収集、今後の動向予測を実施しました。

また、益田氏が収集したデータを社内で共有することによって、プラスチックリサイクル事業の今後の方針を決定する為の事業計画作成に寄与しました。



益田氏の採用後、市場調査による情報のデータ向上、情報精度が向上しました。また「洗浄技術」確立に向けた設備の選定も実施する事ができました。また、プラスチックリサイクル事業の概要を見た大手企業からはプラスチック洗浄に関する問い合わせがあり、関連する展示会に出展した際も多くの反響をいただきました。今後は得られた情報を基に装置の導入を行い、プラスチックリサイクル事業を拡大させていきたいと考えています。

プロ人材【入社時のプロフィール】



益田 匠 氏

役職名：技術顧問
年齢：62歳
家族構成：---
出身地：静岡県 運路ルート：その他
業務遂行手段：全て遠隔業務

主な経歴：外資系石油化学会社におけるマーケティング

業務内容が前職において調査していた内容と関連していたため、本案件でさらに調査を進めることは興味深くできました。

企業からの声



アソシエイトマネージャ 西川 将司 氏

「リサイクル」は環境配慮、SDGsの普及により非常に変化の激しい業界です。そのような業界に対して、益田氏には、数か月という期間ではありましたが、様々なデータを収集していただきディスカッションを行う事で情報精度向上にご協力いただきました。また、ふくいプロフェッショナル人材総合戦略拠点との話し合いを通して、当社は初めて副業人材を活用させていただきましたが、必要な時に必要な業務を依頼できるプロ人材に巡り合えたことを大変感謝しています。また、今回の件で副業人材は有用であることが分かりましたので、当社の他のグループでもプロ人材の採用を予定しています。